

令和8年7月

各 位

公益財団法人 日本発明振興協会
会 長 加 藤 忠 郎
日 刊 工 業 新 聞 社
代表取締役社長 神 阪 拓

第52回（令和8年度）発明大賞表彰事業のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび第52回(令和8年度)発明大賞表彰事業の公募を開始いたします。
多くの方々にご応募いただきたくご案内いたしますので、別添の「応募要領パンフ
レット」をご覧のうえ、ご応募についてご検討くださいますようお願いいたします。

また、PR活動にもご協力いただければ幸いに存じます。本事業の趣旨をご理解
いただき、ご支援ご協力くださいますようお願い申し上げます。

敬具

公益財団法人 日本発明振興協会
発明大賞推進委員会 事務局
〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町 4-22
TEL 03-3464-6991 FAX 03-3464-6980
ホームページ <https://www.jsai.org/>
メール jsai_aaa@jsai.org

発明大賞

発明から生まれる未来のかたち



第52回 発明大賞 応募要領



主催 公益財団法人 日本発明振興協会／日刊工業新聞社

<https://www.jsai.org/>

<https://biz.nikkan.co.jp/html/hatsumeai/>

発明から生まれる 未来のかたち

世界が揺れ動く今この瞬間も、私たちの足元では静かに未来の輪郭が形を帯び始めています。製造現場でのわずかな改善、研究室で偶然生まれた一つのデータ、家庭の中でふと漏れる「これ、もっと良くならないかな」というつぶやき—これらはやがて、社会を変える力へと育っていきます。そしてそこには、未知の可能性に挑む“ワクワク”が常に寄り添っています。

日本の科学技術は、今あらためて世界から注目を集めています。2025 年のノーベル賞では、生理学・医学賞に「制御性T細胞」を発見した大阪大学の坂口志文氏、化学賞に「金属有機構造体（MOF）」を開発した京都大学の北川進氏を選ばれ、2 部門での受賞という快挙に日本中が喜びました。坂口氏と長年研究に取り組んできた妻の教子さんが「新しくて面白いデータが出るとワクワクした。その積み重ねでここまで来た」と語ったように、探究の原点には、未知への純粋な興味と喜びがあります。

また、大阪・関西万博では「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、最先端技術と人間中心の発想が融合した未来像が示されました。開幕前にはさまざまな課題も指摘されましたが、結果として多くの来場者を集め、未来社会への期待を広く共有する場となりました。展示された技術の数々は、すぐに実用化されるものばかりではありませんが、その一つひとつが、これからの社会の可能性を感じさせるものでした。

その一方で、国際情勢の不確実性や地政学的リスクの高まり、AI（人工知能）の普及、エネルギーの転換、少子高齢化など、社会や産業を

取り巻く環境は大きな変化の渦中にあります。このような時代だからこそ、現実の課題に向き合い、着実に解決へと導く発明の力がこれまで以上に重要となっています。

発明大賞が大切にしているのは、まさにその原点です。現場の課題に根差し、それを実用的に解決する力—。製造現場の効率化や省エネルギー化、医療・福祉の向上、安全性の確保など、日々の仕事や暮らしの中から生まれた発明は、社会を着実に支える力となっています。そして、そこには、技術としての確かさとともに、新たな価値を生み出す喜びが息づいています。

「発明大賞」は創設から52回を迎えます。中堅・中小企業、研究者や個人の発明家を対象に、優秀な発明考案を生み出し、成果をあげた企業や個人をこれまで表彰してきました。

さらに 2026 年度からは、時代の要請に対応して、新たな分野への挑戦や多様なキャリアパスの開拓に向けて、意欲あふれる優れた研究者・技術者の活躍を後押しする橋渡し機能を強化していきたいと考えております。このため、新たに文部科学大臣賞を創設し、社会的な認知度がより高い表彰事業へと装いを新たにするとともに、大学・高等専門学校等発の起業を促進するためのスタートアップ賞を創設し、若手の挑戦によるスタートアップを生み育てるエコシステムの実現に貢献することを目指していきます。

ぜひ、より多くの方々に、発明を通じて未来を切り拓く人々の輪に加わっていただければと願っています。

皆様のご応募を心よりお待ちしております。



応募技術については 1 件ごとに入念な審査が行われる



表彰式会場

第51回 (令和7年度) 受賞

受賞者発表の記事 (日刊工業新聞 令和8年3月6日掲載)

293月6日・金曜日 2026年 (令和8年)日刊工業新聞第3 読者便覧号

発明功労賞 (50音順)

■多岐用途の超小型無人探査車「転んでも走行可能な超小型・高強度無人探査車」(ダイモン 代表取締役社長 中島紳一郎)

■燃料噴射制御システム及び二元燃料機関「阪神内燃機工業 (社長・木下和彦氏ほか4人)」

■静音・衝撃吸収搬送装置「伊東電機 (会長・伊東一夫氏ほか2人)」

■4隅の圧力を個別に調整できるパッケージ用型抜き装置「デュプロ (社長・田中日出男氏ほか3人)」

■「転んでも走行可能な超小型・高強度無人探査車」(ダイモン 代表取締役社長 中島紳一郎)

■燃料噴射制御システム及び二元燃料機関「阪神内燃機工業 (社長・木下和彦氏ほか4人)」

■静音・衝撃吸収搬送装置「伊東電機 (会長・伊東一夫氏ほか2人)」

■4隅の圧力を個別に調整できるパッケージ用型抜き装置「デュプロ (社長・田中日出男氏ほか3人)」

第51回 発明大賞

受賞製品・技術のポイント

転んでも再起、月面撮影成功

月面探査を実施可能な超小型無人探査車「転んでも走行可能な超小型・高強度無人探査車」(ダイモン 代表取締役社長 中島紳一郎)

燃料噴射制御システム及び二元燃料機関「阪神内燃機工業 (社長・木下和彦氏ほか4人)」

静音・衝撃吸収搬送装置「伊東電機 (会長・伊東一夫氏ほか2人)」

4隅の圧力を個別に調整できるパッケージ用型抜き装置「デュプロ (社長・田中日出男氏ほか3人)」

発明大賞本賞

発明大賞東京都知事賞

発明大賞日本発明振興協会会長賞

発明大賞日刊工業新聞社賞

転倒しても走行可能な超小型・高強度無人探査車
(株)ダイモン 代表取締役社長 中島紳一郎

燃料噴射制御システム及び二元燃料機関
阪神内燃機工業(株) 代表取締役 社長 木下和彦 他4名

静音・衝撃吸収搬送装置
伊東電機(株) 代表取締役会長 伊東一夫 他2名

4隅の圧力を個別に調整できるパッケージ用型抜き装置
(株)デュプロ 代表取締役社長 田中日出男 他3名



発明大賞の表彰

発 明 大 賞

画期的な発明考案により、わが国産業の発展と国民生活の向上に大きな業績をあげた候補者に対し、審査の結果、特に優秀なものに次の賞を贈呈します。

- | | | | |
|-------------------|-----|-------|--------|
| ① 発明大賞文部科学大臣賞 | 1 件 | 賞状・副賞 | 100 万円 |
| ② 発明大賞卓越賞 | 1 件 | 賞状・副賞 | 100 万円 |
| ③ 発明大賞東京都知事賞 | 1 件 | 賞状・副賞 | 50 万円 |
| ④ 発明大賞日本発明振興協会会長賞 | 1 件 | 賞状・副賞 | 50 万円 |
| ④ 発明大賞日刊工業新聞社賞 | 1 件 | 賞状・副賞 | 50 万円 |

発 明 功 労 賞

優れた発明考案により、わが国産業の発展と国民生活の向上に業績をあげた候補者に対し、審査の結果、次の賞を贈呈します。

- 発明功労賞 7 件以内 各 賞状・副賞 20 万円

ス タ ー ト ア ッ プ 賞

今後優れた業績が期待される発明考案を行った候補者に対し、審査の結果、次の賞を贈呈します。

- スタートアップ賞 4 件以内 各 賞状・副賞 20 万円

考 案 功 労 賞

優れた発明考案で業績をあげた候補者に対し、審査の結果、次の賞を贈呈します。

- 考案功労賞 10 件以内 各 賞状・副賞 10 万円

発 明 育 成 賞

自社以外の発明考案を育成して、わが国産業の発展と国民生活の向上に大きな業績をあげた候補者に対し、審査の結果、次の賞を贈呈します。

- 発明育成賞 1 件以内 賞状

この表彰事業は当協会の発明振興事業を理解し、多額の寄付をされた方々の基金の果実及び寄付金によって運営されています。

発明大賞の応募方法

候補者

この表彰を受けることのできる候補者は、中堅・中小企業（資本金 10 億円以下の企業）、大学・高等専門学校などの教職員及び学生、個人またはグループに限られます。ただし、次に掲げる事項の一に該当するものは、原則として表彰いたしません。

- (1) 主たる発明考案について係争中のもの。
- (2) 主たる発明考案が未公開のもの。
- (3) 成年被後見人及び被保佐人。
- (4) 著しく人格的に欠陥があり、表彰するにふさわしくないと認められる者。
- (5) 主たる発明または研究について他の団体の顕著な表彰を受けた者。
- (6) 国及び都道府県の機関などの関係者。

（ただし、発明者が会社を設立し、代表取締役として発明を商品化している場合は、この限りではない。）

別添の『応募に際しての注意事項』の【Ⅱ. 候補者について】も必ずご確認ください。

申請手続き

所定の書類（申請書・添付資料 各 2 部）、電子データ（申請書エクセルデータ、候補者顔写真、製品写真）を日本発明振興協会会長あてに提出してください。

* 応募書類に記載された内容及び個人情報については、本表彰の審査以外には一切利用いたしません。

* 別添の『応募に際しての注意事項』の【Ⅰ. 提出資料について】も必ずご覧ください。

* 『申請書』は、当協会のホームページからダウンロードしてください。ダウンロードできない場合は、当協会までご請求ください。

募集期間

令和 8 年 7 月 1 日(水)～9 月 30 日(水)

審査

学識経験者による審査委員会（審査委員長＝向井千秋 東京理科大学特任副学長）を開いて、厳格・適正な審査を行います。

なお、審査委員会において必要があると認めた場合、現地調査を行います。

受賞者の発表と表彰式

審査の結果は 3 月初旬に受賞者及び推薦者に通知するとともに、日刊工業新聞紙上に発表いたします。

表彰式は、令和 9 年 3 月中旬に東京にて行います。

なお、主な受賞者の発明発表会を科学技術週間参加行事（4 月中旬）として実施する予定です。

お問い合わせ先・申請書の提出先

公益財団法人 日本発明振興協会 発明大賞推進委員会
〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町 4-22

TEL. 03-3464-6991 FAX. 03-3464-6980

申請書は下記よりダウンロードしてください。

◇ 公益財団法人 日本発明振興協会のホームページ <https://www.jsai.org/>

◇ 日刊工業新聞社のホームページ

<https://biz.nikkan.co.jp/html/hatsumeil/>

（前年の受賞者と受賞技術を紹介しております）

後援（予定）

文部科学省、経済産業省、特許庁、中小企業庁、東京都、（地独）東京都立産業技術研究センター、日本商工会議所、東京商工会議所、日本弁理士会、（一社）日本中小企業診断士協会連合会、（一社）東京都中小企業診断士協会、（一社）全国信用金庫協会

これまでの発明大賞受賞紹介

発明大賞表彰事業は昭和 50 年度（表彰は昭和 51 年）から始まりました。
これまで 51 回の開催を通じて、発明大賞等表彰総数は 1462 件に達しています。

	発明大賞本賞	発明大賞東京都知事賞	発明大賞日本発明振興協会会長賞	発明大賞日刊工業新聞社賞
第 51 回 〔令和 8 年〕	転倒しても走行可能な超小型・高強度 無人探査車 〔ダイモン〕 東京都	燃料噴射制御システム及び二元燃料機関 〔阪神内燃機工業〕 兵庫県	静音・衝撃吸収搬送装置 〔伊東電機〕 兵庫県	4 階の圧力を個別に調整できる バッケージ用型抜き装置 〔デュプロ〕 神奈川県
第 50 回 〔令和 7 年〕	磁線を活用し鉄粉をフィルターにする 精密 2 次ろ過装置 〔ショウナンエンジニアリング〕 鹿児島県	大気成分の濃縮による 農業用 CO ₂ 供給装置 〔西部技研〕 福岡県	スマホ対応型軽量小型「水」 総合管理システム 〔小松電機産業〕 島根県	ダイカストのランナー加圧法による 品質改善と生産性向上 〔ダイレクト 21〕 神奈川県
第 49 回 〔令和 6 年〕	省エネを実現するエアノズル 〔トリーエンジニアリング〕 兵庫県	バックスピン機構付き給紙装置及び 給紙方法 〔塚崎昌弘氏・個人〕 大阪府	スチームトラップ内部の スケール除去機構 〔ミヤワキ〕 大阪府	シート巻取装置 〔甲南設計工業〕 兵庫県
第 48 回 〔令和 5 年〕	布製伸縮ヒーター 〔三機コンシス〕 東京都	ハチミツ等を糸引きなく充填する 自動充填機用ノズル 〔秋元産機〕 東京都	高性能ポリエステル延伸糸製造設備 〔TMT マシナリー〕 大阪府	動的振れ測定装置と振れ調整ホルダ 〔大昭和精機〕 大阪府
第 47 回 〔令和 4 年〕	メニエール病の症状の治療ができる 可搬可能な装置 〔第一医科〕 東京都	トルク可変式回動制動装置 〔TOK〕 東京都	自動水抜き機構を備える不凍水栓柱 〔竹村製作所〕 長野県	木板の連続曲げ加工システム 〔今井産業〕 青森県
第 46 回 〔令和 3 年〕	粘土質濁水精密濾過装置 〔流機エンジニアリング〕 東京都	電動バランスシステム 〔ロボテック〕 東京都	LED 照明モジュールおよび LED 照明装置 〔四国計測工業〕 香川県	絶縁抵抗監視の制御方法および 監視装置 〔竹中電機〕 愛知県
第 45 回 〔令和 2 年〕	柔軟触覚センサ 〔タッチエンス〕 東京都	小型塩水噴霧試験機 〔スガ試験機〕 東京都	統計学を応用したプラント設備及び 生産ラインの管理強化 〔山本隆義氏・個人〕 広島県	エレメント積層型混合器 〔アイセル〕 大阪府
第 44 回 〔平成 31 年〕	唾液分泌量を評価する 口腔粘膜湿度検査機器 〔ライブ〕 埼玉県	中赤外顕微鏡用高性能ダイヤモンド ATR 対物鏡 〔エス・ティ・ジャパン〕 東京都	密着締付式サイズフリー容器運搬袋 〔ミヤゲン/シービービス〕 福井県/福井県	金属屑削屑粉砕圧縮装置 〔クリエイトエンジニアリング〕 愛知県
第 43 回 〔平成 30 年〕	半導体工場における 配管型反応生成物捕集器 〔大成技研〕 東京都	粒状地盤コアパーレル 〔基礎地盤コンサルタンツ〕 東京都	眼鏡レンズの染色方法 〔ニデック〕 愛知県	ダイレクトタッチ型 メタルダイヤフラム弁 〔フジキン〕 大阪府
第 42 回 〔平成 29 年〕	らせん状回転流を利用した 揮発性物質の濃縮装置 〔バイオクロマト/第一共 RD ノバーレ〕 神奈川県/東京都	果実表面と接触しない 果物個別包装容器 〔アイ・イート〕 栃木県	銅部材の芯材と軸材を摩擦接合した 圧延ロール製造方法 〔フジコー〕 福岡県	断面形状が波形の集水管 〔藤進〕 秋田県
第 41 回 〔平成 28 年〕	植物の特性を利用した防草技術 〔石川重規氏・個人〕 愛知県	揚水用の地上設置型フート・バルブ 〔イシザキ〕 東京都	超音波バリ取り洗浄装置 〔ブルー・スター R&D〕 神奈川県	傾斜クランクピンをもつ 「R-θ テーブル」とメネジ加工法 〔エムエイチセンター〕 埼玉県
第 40 回 〔平成 27 年〕	吸音性に優れた 通気性サンドイッチパネル 〔静科〕 神奈川県	光触媒を用いた紫外線空気清浄機 〔ユーヴィックス〕 東京都	金属製品の表面層組織を微細化する 瞬間熱処理法 〔不二機版〕 愛知県	「リトライ」機能付き雨水緊急遮断弁 〔カワデン〕 大阪府
第 39 回 〔平成 26 年〕	脳梗塞・無症候性脳梗塞の スクリーニング方法 〔アミンファーマ研究所〕 千葉県	白熱電球の明るさと色色変化を 再現する LED 点灯回路 〔トキコーポレーション〕 東京都	グランドピアノの音色と機能を有する アップライト型ピアノ 〔藤井ピアノサービス〕 鹿児島県	車椅子移動支援具 〔JINRIKI〕 長野県
第 38 回 〔平成 25 年〕	羽根の無い遠心攪拌装置 〔エディプラス〕 埼玉県	エレクトロロケーション法による 外来遺伝子導入法 〔ネッパジーン〕 千葉県	自浄機能を有するばね式フィルター 〔モノベエンジニアリング〕 千葉県	心なし歯車ラッピング盤 〔カシフジ〕 京都府
第 37 回 〔平成 24 年〕	光硬化型整形外科用固定材 〔アルケア〕 東京都	デマンド制御システム 〔石井隆夫氏・個人〕 滋賀県	ハットリング工法による マンホールの浮上防止構造 〔シーエスエンジニアズ〕 埼玉県	アンダーカット成形ユニット装置 〔テクノクラッツ〕 広島県
第 36 回 〔平成 23 年〕	操作性、安全性を向上した 環境に優しい給油ノズル 〔現：タツノ〕 東京都	レバータンブラー方式の シリンダー錠 〔オプナス〕 東京都	テーブル回転機構を用いた 両面同時式偏光板貼付装置 〔淀川メデック〕 大阪府	逆止弁を備える 自立型二重構造の液体包装袋 〔悠心〕 新潟県
第 35 回 〔平成 22 年〕	緩み止めナットのハードロックナット 〔ハードロック工業〕 大阪府	自動外観検査システム 〔山田吉郎氏・個人〕 東京都	エプロン式チップ搬送コンベヤ 〔ヨシダ鉄工〕 石川県	負圧式スプリンクラー 〔松岡玄五氏・個人〕 千葉県
第 34 回 〔平成 21 年〕	合成樹脂成形用金型並びに 金型温度調整装置及びその方法 〔小野産業〕 埼玉県	溶融亜鉛メッキ浴及び 亜鉛メッキ処理鉄物製品 〔シーケー金属/サンエツ金属〕 富山県/富山県	コンクリート構造物の ワイヤーソー切断装置及び切断方法 〔日本ファステム〕 埼玉県	超急速冷凍方法及びその装置 〔アビー〕 千葉県
第 33 回 〔平成 20 年〕	鏡面加工を可能にした 食品素材研磨材 〔ヤマシタワークス〕 兵庫県	ポリアミド樹脂成形品の 射出成形方法 〔型善〕 愛知県	鋳造用砂及びその製造方法 〔山川産業〕 兵庫県	樹脂管遮断工具（スクイズオフ工具） 〔武陽ガス/レックス工業/斎長物産〕 東京都/大阪府/東京都
第 32 回 〔平成 19 年〕	光屈折式液体濃度計 〔アタゴ〕 東京都	第 33 回より創設	大量、安価な裸眼立体視印刷物用 マイクロレンズアレイの製造法 〔グラバックジャパン〕 東京都	廃アルミ缶利用による騒音吸収材 〔サーマル〕 東京都
第 31 回 〔平成 18 年〕	エアコン用ドレンポンプ 〔不二工機〕 東京都	第 33 回より創設	廃棄有機物の分解処理装置 〔正和電工〕 北海道	円盤式連続点字表示装置 〔アスク〕 大阪府
	発明大賞	発明大賞（笹川特別賞）	発明大賞（池田特別賞）	発明大賞（福田特別賞）
第 30 回 〔平成 17 年〕	電子デバイス検査用積層型プローブ 〔清田製作所〕 東京都	透光型膜振動吸音板 〔ユニックス〕 東京都	リサイクルねじ 〔戸津勝行氏・個人〕 千葉県	単管連続自動溶接装置 〔村田彰久氏・個人〕 大阪府
第 29 回 〔平成 16 年〕	電荷移動型触媒を利用した セルフクリーニングタイル 〔ファイラックインターナショナル〕 静岡県	ダイヤモンドライクカーボン 薄膜製造装置 〔ナノテック〕 千葉県	タイヤユニフォーマリティ試験装置 〔国際計測器〕 東京都	超音波音速測定方法 〔京都電子工業〕 京都府
第 28 回 〔平成 15 年〕	電気配線用ジョイントボックス 〔カワグチ〕 愛知県	シート送りシャフト 〔塚田螺子製作所〕 埼玉県	配線回路基板とその製造方法 〔ノース〕 東京都	路面用カッター 〔現：セーブマシン〕 神奈川県

	発明大賞	発明大賞 (笹川特別賞)	発明大賞 (池田特別賞)	発明大賞 (福田特別賞)
第27回 (平成14年)	音叉振動式荷重変換機構 〔新光電子〕 東京都	電子部品冷却装置 〔山洋電気〕 東京都	人体検知装置 〔竹中エンジニアリング〕 京都府	電動緊急遮断弁 〔カワデン〕 大阪府
第26回 (平成13年)	ボビン自動交換装置 〔木下精密工業／加藤機械研究所〕 愛知県／愛知県	ビデオモニタの調整システム 〔ナナオ〕 石川県	小孔プリント基板用 高速・高品位めっき装置 〔日本テクノ〕 東京都	直腸カテーテル 〔精工タカネ〕 福島県
第25回 (平成12年)	反射鏡 〔岡本硝子〕 千葉県	押し通しダイスによる 三次元パイプベンダー 〔日進精機〕 東京都	DNA 損傷度測定方法 〔日研フード〕 静岡県	パターン形成用シート 〔シグマックス〕 大阪府
第24回 (平成11年)	X線非破壊検査装置 〔スタビック〕 東京都	グルコース濃度の測定方法 〔京都第一科学〕 京都府	ゴンドラ足場装置 〔アワブレーン環境設計〕 東京都	表土保護シートと土壌侵食防止方法 〔多機能フィルター〕 山口県
第23回 (平成10年)	搬送装置の駆動部材 〔アイテック〕 群馬県	外径転圧仕上げ装置 〔スギノマシン〕 富山県	2軸水平センサ 〔ニッショー機器〕 大阪府	吸盤付シートの製造方法 〔樹脂印刷社〕 東京都
第22回 (平成9年)	円方向振動形粘度検出装置 〔現：セコニック〕 東京都	電極体 〔現：東亜ディーケーケー〕 東京都	二連式ブランジャーポンプ 〔共立機巧〕 愛知県	合金銅の溶接に伴う スケールの除去方法 〔ケミカル山本〕 広島県
第21回 (平成8年)	ミシンの自動エア糸通し装置 〔鈴木製作所〕 山形県	水分計における電極電位検出方法 〔京都電子工業〕 京都府	海生物を主体とする廃棄物の処理方法 〔丸誠重工業〕 大阪府	パレット交換装置 〔キタムラ機械〕 富山県
第20回 (平成7年)	フッリン酸塩光学ガラス 〔住田光学ガラス〕 埼玉県	シリコン薄膜ピエゾ抵抗素子の 製造法 〔現：長野計器〕 東京都	即席もち製造法 〔現：おむすびころりん本舗〕 長野県	高速粉砕装置 〔増幸産業〕 埼玉県
第19回 (平成6年)	ステッピングモータ用負荷トルク測定装置 〔エヌエフ計測システム／日本バルモーター〕 神奈川県／東京都	電気音響交換器の振動板 〔アツデン〕 東京都	折取り可能ドリルねじ 〔新城製作所〕 大阪府	生カニ足皮むき装置 〔東洋高田〕 広島県
第18回 (平成5年)	紙送りローラー 〔日本ベルパーツ〕 千葉県	金属多孔質材製造法 〔ユニックス〕 東京都	生コンクリート洗い残渣の再生装置 〔ネオテック〕 東京都	スポット溶接非破壊測定具 〔セキ工業〕 広島県
第17回 (平成4年)	内面メッキ治具 〔現：ジャスト〕 山形県	繊維状粉体送り装置 〔オスカー工業〕 東京都	自吸式ポンプ 〔荻原製作所〕 長野県	流体収納容器 〔ハ洲工業〕 東京都
第16回 (平成3年)	樹脂管の製造装置 〔現：エバック〕 大阪府	人工太陽照明灯 〔セリック〕 東京都	小型スイッチの対向接点部の製造法 〔ジャバントルクス〕 富山県	低耐荷力管推進工法 〔機動建設工業〕 大阪府
第15回 (平成2年)	一方向ベアリング 〔トックベアリング〕 東京都	プレキャスト板を用いた床工法 〔現：スパンクリートコーポレーション〕 東京都	アニオン電着塗膜の低温硬化法 〔シミズ〕 大阪府	使用済注射針の処理装置 〔セイブエンジニアリング〕 静岡県
第14回 (平成元年)	金属積層形ガasket 〔石川ガasket〕 東京都	電話転送装置 〔現：イービーエフ製作所〕 群馬県	空圧式多針剥離工具 〔日東工器〕 東京都	クリームはんだ 〔千住金属工業〕 東京都
第13回 (昭和63年)	車輻内旋回掘削機 〔現：ハニックス工業〕 埼玉県	曇り点測定装置 〔田中科学機器製作〕 東京都	低熱膨張鋳鉄 〔榎本鋳工所〕 埼玉県	フレキシブルカーテンレール 〔トソー〕 東京都
第12回 (昭和62年)	歯科用X-レイフィルム 現像処理システム 〔阪神技術研究所〕 兵庫県	光交流法薄膜用熱点数測定装置 〔真空理工〕 神奈川県	非球面加工用超精密旋盤 〔理研製鋼〕 東京都	高周波スイッチング式 溶接機・切断機 〔三社電機製作所〕 大阪府
第11回 (昭和61年)	大型美術鋳造品の製作技術 〔黒谷美術〕 富山県	無機硬化体組成物 〔菊水化学工業〕 愛知県	ロータリー除雪車 〔現：開発工建〕 北海道	木工用ルータ機の切削法 〔平安鉄工所〕 静岡県
第10回 (昭和60年)	磁気抵抗素子による シートコイルモータ 〔勸業電気機器〕 東京都	漁船附属運搬船の玉網捌き法 〔海研〕 長崎県	磁力選鉱装置 〔鷹羽科学工業〕 東京都	寿司自動製造機 〔現：鈴茂器工〕 東京都
第9回 (昭和59年)	リボン線製造法 〔現：ヨシダキネン〕 千葉県	耐熱性高反射鏡 〔横浜機工〕 神奈川県	接地線の取り付け工法 〔藤井正視氏・個人〕 茨城県	脱油浄化方法 〔丸智工研〕 静岡県
第8回 (昭和58年)	高性能マグネシア・カーボンれんが 〔九州耐火煉瓦〕 岡山県	パイプコンベヤ 〔ジャパンパイプコンベヤ〕 福岡県	記録計の直線書き機構 〔フクダ電子〕 東京都	合成樹脂製螺旋巻管の連続製造装置 〔東拓工業〕 大阪府
第7回 (昭和57年)	マイコン用自動図機 〔現：グラフテック〕 東京都	歯科用全自動真空加圧鋳造装置 〔三社電機製作所〕 大阪府	フリー電源型光電検出装置 〔サンクス〕 愛知県	生海苔連続洗浄機 〔渡辺機開工業〕 愛知県
第6回 (昭和56年)	回転力測定装置 〔小野測器〕 東京都	油回収ポンプ 〔ワールドケミカル〕 東京都	乾麺の早茹と食味に関する研究 〔星野物産〕 群馬県	交流アーク溶接機用 自動電撃防止装置 〔宮木電機製作所〕 京都府
第5回 (昭和55年)	アルミニウム材の鏡面処理 〔東京プレイティング〕 東京都	拡底リバースサーキュレーション ドリル杭工法 〔東洋基礎工業〕 東京都	針状晶磁性粉末の製法 〔戸田工業〕 広島県	リバーシブルアフガン 〔村上房子氏・個人〕 東京都
第4回 (昭和54年)	無限摺動用ボールスプライン軸受 〔現：THK〕 東京都	感光性フレキシソ版材 〔東京応化工業〕 神奈川県	シロッコファン 〔赤石金属工業〕 群馬県	等方性高密度黒鉛の製法 〔東洋炭素〕 大阪府
第3回 (昭和53年)	割り出し用ボールアセンブリー 〔シンボ工業〕 京都府	高性能いフライス盤 〔細井工作所〕 大阪府	往復動可変定量ポンプ 〔イワキ〕 東京都	18 コンベア (ベルトの内側にバケット を取り付けたバケットエレベーター) 〔西村鉄工所〕 佐賀県
第2回 (昭和52年)	電気ガラス溶融方法 〔現：ハリオ研究所〕 東京都	自己再生式フィルターエレメント 構成法及び自己再生式エレメント 〔東洋フィルター工業〕 山梨県	電子閃光放電管による複写法 〔理想科学工業〕 東京都	積層ブレンデ 〔三田屋製作所〕 東京都
第1回 (昭和51年)	顕微鏡の自動焦点装置 〔現：レーザーテック〕 神奈川県	第2回より創設		硫酸製造装置用縦軸沈下式ポンプ 破損防止構造 〔松田ポンプ製作所〕 兵庫県



2026
THE INVENTION AWARD

問い合わせ先

公益財団法人日本発明振興協会

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町4-22
TEL. 03(3464) 6991 FAX. 03(3464) 6980

日刊工業新聞社

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町 14-1
TEL. 03(5644) 7190

西日本支社

〒540-0031 大阪市中央区北浜東 2-16
TEL. 06(6946) 3341

名古屋支社

〒461-0001 名古屋市東区泉 2-21-28
TEL. 052(931) 6160

西部支社

〒812-0029 福岡市博多区古門戸町 1-1
TEL. 092(271) 5713